

新潟・上越に新工場

ガス器具 光陽産業、1割増産

光陽産業（東京都品川区、大山健二郎社長）は、新潟県上越市にバルブや継手などガス器具の新工場を建設する。ガス向けの需要が底堅いほか、水道関連や航空機関連、食品関連など新規分野も伸びており、同市内の既

存2工場はフル稼働が続いている。2工場の生産機能を新工場に集約し、生産能力を当面1割ほど拡大する。2026年春をめどに本格稼働する。敷地面積3万3500平方メートルの用地を取得しており、延べ床面積

8700平方メートルの建屋を建設する。

工程集約型の工作機械や無人搬送車（AGV）などを導入するほか、移動の少ない工場レイアウトにして効率を高める。投資額は32億円。

既存の上越工場（新潟県上越市）と上越第二工場（同）は新工場に生産機能を集約し効率化を図る。二つの工場に製品組み立て工程が分散しているなど、

使い勝手や効率に課題があった。

光陽産業は足元の受注が好調で、25年6月期売上高は90億円と、4期連続の過去最高を見込む。一連の生産体制の再編を通じて中期で売上高を100億円に引き上げる。